

# ホットマットに起因する火災

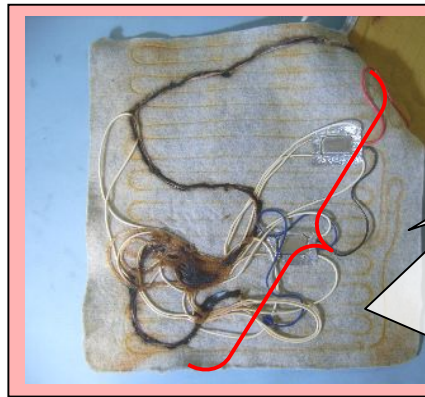
## 火災概要

一般住宅の室内で、椅子の上にホットマットを敷き、その上に座布団を敷いて使用していたところ、ビニールが焦げるような臭いで気付き、慌ててホットマットの電源プラグを抜いたため自然鎮火しましたが、椅子、座布団及びホットマットの一部を焼損した火災です。



## 原因概要

ホットマットは使用して10年以上が経過しており、ホットマットの内部に接着されているヒーター線が、椅子等の比較的軟らかい場所に敷いて使用されていたためホットマットが沈み込む事や経年劣化でヒーター線の接着剤が剥がれ、脱落して偏った状態で使用されたことにより、配線同士が接触しジュール熱等の影響を受け配線の被覆の絶縁が劣化し、通常より短い配線経路を形成した事により、通常流れる電流がその短い配線経路に流れたため、その間が電熱状態となり内部のマットレス部分が焼損したものです。



僅かに、元の配線の後が残っています。

焦げている配線の間で電流が流れ電熱状態となりました。

## 類似火災の防止対策

今回の火災ではホットマットから出火しましたが、電気毛布やホットカーペットなども同様の構造の物が多く同じような原因で火災が発生する可能性があります。冬場の使用期間が過ぎると、たたんで収納したり丸めて収納される事が多いと思われます。その際に、接着部分が剥がれ同様の状態にならないとも言えません。安全装置等も製品には付いていますが、今シーズン収納する前に、「**内部の配線が剥がれて偏っていないか。**」

「**焦げた跡はないか。**」

「**使用中に局部的に熱い部分はないか。**」などを確認してから収納するようにしてください。

・・・**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**・・・